



京都 YWCA

7 2015

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

滞日外国人をめぐる最近の課題——「新日系人」

京都 YWCA の中に、APT（アプト:Asian People Together）という委員会があります。1991 年 9 月の活動開始以来、滞日外国人のための支援活動を行ってきました。週 2 回電話で相談を受け、必要に応じて直接会ったり、必要な機関や専門家の紹介や同行をしたりしています。この 20 年間で、社会の変化に応じて相談内容は大きく変化してきました。

「新日系人」問題の背景

最近多い相談が「新日系人」に関わるものです。「新日系人」とは、戦後、特に 1980 年代以降フィリピンから来日した女性と日本人男性、あるいは、フィリピンに滞在していた日本人男性と現地女性の間にできた子どものことです。2008 年に国籍法が改正されて、「出生後に日本人に認知されていれば、父母が結婚していない場合にも届出によって日本の国籍を取得することができる」（法務省）ようになりました。その結果、新日系人の実父を日本で探して認知してもらい、国籍を取得できるように支援し、母親に日本での就職先を斡旋する団体が出てきました。そのような団体を通して日本に来た女性からの相談が最近急増しています。

子どもを日本に連れて来られるのは一人だけという条件で来ていた女性からは、残してきた二人目の子どもが心配なので呼び寄せたいという相談がありました。一つの住居に複数の家族で住むという環境に耐えかね、別のところに住みたいと相談されたケースもあります。人間関係など職場のストレスで体調不良になり、仕事を辞めたいという相談もありました。渡航前に旅費その他の借金があるため、実際の労働に対して手取り収入が少ないことも彼女たちの悩みです。新日系人の母親たちが低賃金で働かされている問題は日本各地で出はじめています。

来日した新日系人親子への支援

母親と来日した子どもたちの多くは小学生か中学生です。幼いうちに来日した子どもは比較的日本語も早く覚え、学校にも馴染んでいきます。しかし、年齢が上がるにつれて勉強が難しくなり、自分の育った国の言語でなら分かる教科も日本語ではその力を発揮できず学校が嫌になる子どももいます。自分の意志で日本に来たのではなく、「親に連れてこられた」と思って、言葉の分からない学校に通わなければならないことに不満を抱く場合もあります。かつて APT に相談された人で、その後 APT で通訳としても活躍している Aさんは、現在小中学校に在籍するこのような子どもたちを自分の育った国の言語での支援をする中で、子どもたちの不安な気持ちを聞くことが多いそうです。

日頃悩みやストレスを抱えた親子に、一日のびのびと過ごしてもらいたいと考え、APT では年に 2、3 回親子イベントを企画しています。京都 YWCA で自国の食べ物を作ってゲームをしたり、ピクニックに行ったり。「こんなに笑ったの久しぶり」という参加者の声に、笑って過ごせる時間の必要性を感じています。今年の夏のイベントも企画中です。

数年前までは離婚と親権の争いに関する相談が多くありましたが、これからしばらくは新日系人親子の問題が相談の中心となっていくでしょう。

（安藤いづみ）



夏のピクニック

～「ラグタイム」コンサート～

♪オールディーズポップス・
ジャズ・讃美歌を楽しむ♪



5月23日(土)チャリティイベント企画委員会が男声ヴォーカル・カルテットグループ「ラグタイム」のコンサートを開催しました。ラグタイムは同志社大学グリークラブ出身の方々と結成されて13年目のグループです。メンバーの皆さんが合唱することを楽しみ、喜んでいっしょの気持ちがそのまま表れているステージでした。主に60～70年代のポップス(オールディーズ)、スタンダードジャズ、映画音楽と讃美歌を歌っていただき、後半では参加者も「四季の歌」、「上を向いて歩こう」を一緒に歌いました。曲目のほとんどが懐かしく、いつかどこかで耳にしたようなメロディで、参加者の方々も、若かりしあの頃にタイムスリップし、思い出に浸る豊かな時間を過ごしていただいたようでした。コンサート終了後「またラグタイムさんを読んでくださいね」という感想もいただきました。(坪野えり子)

京都 YWCA の
フリーペーパー作成中!

今年の2月からユース会員を中心に京都 YWCA のフリーペーパーを作成しています。このフリーペーパーは、京都 YWCA について知らない人に向けて、京都 YWCA の事業を広く発信することが目的です。

内容は、京都 YWCA の会員8名のインタビュー記事と写真です。今まで共に活動してきた会員の方たちですが、京都 YWCA に関わるようになったきっかけや背景、興味があることなど、インタビューする側も今まで知らなかったことが多く、改めて京都 YWCA の魅力を発見することができました。この魅力を伝えることができればいいなと思っています。

京都 YWCA の「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」の情報発信を手伝ってもらっているクリエイターと協力して、カフェや雑貨屋さんにも置いてもらえるような魅力的なデザインと内容になるように頑張っています。

このフリーペーパーを、新たに京都 YWCA を訪れ、活動する人が増えるきっかけになるものにしたいと思っています。7月末の発行を目指して編集していますので、お楽しみに!

(平岩ともし)

避難訓練を
実施しました!

5月9日、京都 YWCA では京都市消防局の方々にお願いいただき、全館避難訓練を実施しました。訓練は、館内のある場所から火が発生したという想定で始まりました。職員が発火場所を見つけて消火を実施し、消火失敗を受けて各フロアの人々を館外へ避難するよう誘導しました。その様子を観察していた消防局の方から、建物の各階に何人いるか、残っている人がいないかを把握することが重要であり、そのための指揮系統を日頃からしっかり決めておくことが大事であること、避難する際には空気の流入を遮断するために必ず扉を閉めることなどの注意がありました。

さらに、消火器の扱い方の説明を受けて、参加者全員が実際に使ってみました。また、AED の使い方を含む心肺蘇生法を学びました。会員、職員、会館に住む留学生やサラムの方々に参加して、防災態勢づくりと防災意識の大切さを学んだ一日でした。



留学生たちも心肺蘇生訓練にチャレンジ

恒例の「あじさいバザール」開催!



近畿地方で梅雨入りが発表されたばかりの6月6日(土)、京都 YWCA の恒例イベント「あじさいバザール」が開催されました。前日に降っていた雨も当日にはあがり、多くのご来場者のみなさまにバザーを楽しんでいただくことができました。食堂コーナーやサマリア館の喫茶コーナーも多くのお客さんにぎわいました。このバザーの開催に向けてご協力くださったみなさま、ありがとうございました。

当日入場料収入(東日本大震災被災者支援活動に寄付します): 48,000 円



中庭での百円均一コーナー



京丹後宇川加工所の物産コーナー

自立援助ホーム「カルーナ」主催 坪井節子さん講演会

子どもたちに寄り添う
～カリヨン子どもセンターの活動～

京都 YWCA は 4 月より女兒自立援助ホーム「カルーナ」を始めました。講師の坪井節子さんは、全国に先駆け、東京に子どもシェルターや自立援助ホームを設立されたキリスト者です。4 月 11 日に行われた講演会では、今、社会の中で子ども達がどのような状況に置かれているのかを伺いました。

子ども達はさまざまな理由でシェルターにやってきます。虐待されて非行に陥り、少年院から帰る家のなかった子。子ども人権 110 番に「もう家に帰れない」と相談してくる子。彼ら彼女らは被害者であって、大人は子どもの人権を保障しなければなりません。子どもの人権を支える柱とは、次の三つです。①生まれてきてよかったね、ありのままのあなたでいい。②一人ぼっちじゃない。③あなたの人生はあなたにしか歩けない、自分で選んでいい。そして、大人は対等かつ全面的なパートナーとして「こうあるべき」を押し付けてはいけません。子どもを支える大人が、自信を持ってこの三つの柱を守れていると言えるかを自分に問うことが大切、と述べられました。

自立援助ホームの役割

シェルター活動は、家庭で大切にされなかった子どもへの「短期集中の愛のシャワー」、緊急の社会的養護です。一方、自立援助ホームは、緊急保護の次のステップとして、子どもの自活への力を養う場です。衣食住の自立、就労・金銭管理、職場の上司・同僚、友人・恋人との関係の持ち方など、一人で生活していけるように手助けします。その次に必要となるのが、退居後のアフターケアです。住居の賃貸借・病气・失職・妊娠・結婚など、実家代わりとして長く関わります。子ども達に「生き抜いてくれればそれでいい」と根気強く寄り添うことの大切さを語られました。

最後に、課題として、就学・就労も入院もできない子どもがゆっくり育つ場「ハーフウェイハウス」の必要性をあげられました。

子ども達をとりまく状況と、「カルーナ」で私達にできることを考え、共有する貴重な機会となりました。

(岩佐恭子)



講演される坪井節子さん

シリーズ ～京都 YWCA 多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり～

「うららかふえ」～ オープンから 10 ヶ月

うららかふえ

うららかふえ運営委員会

昨年 9 月にオープンした「うららかふえ」も 10 ヶ月が過ぎようとしています。火曜日から土曜日まで、会員が中心となって日替わりでランチを担当し、その他に委託をお願いし、また各部や委員会の担当の日もあるというスタイルが定着してきました。

家庭や教会などでは調理の経験が豊富にあっても、ほとんどが素人といったいいボランティアの会員ですが、前日の仕込みから当日一日の段取りを見通せるようになりつつあります。メニューも、そこは長年の経験が活かされ、得意なものが決まってきました。

現在一日 30 人前後から、ときには 40 人近くの方々がランチに来られます。「おいしかった!」、「ごちそうさま」という声は、何よりの励ましと喜びです。予想以上に来店があり、やむを得ずお断りするときは本当に心苦しいのですが、用意したのに残ってしまう日もあり、そこが面白さでもあり難しさでもあります。

皆で話し合って一つずつ課題解決

これまでに材料や備品の在庫管理、食材の調達、食器や

調理器具の管理などいくつかの課題ができました。改善をめざして話し合い、対策してきましたが、現在進行形の課題もまだまだあります。会員以外のボランティアの方々や委託の方も、同じカフェの担い手として共に意見を述べ情報を共有すること、昨年度はできなかった「多世代・多文化ふれあい」のうららかふえ主催イベントをすることなどです。

今年になってお得なランチ回数券を作りました。本館のサービス付き高齢者向け住宅にお住まいの方や定期的に来られる方々など、どなたでもご利用いただけます。お天気のいい日には中庭のテーブルで食事を楽しむのも、開放的で気持ちよく、好評です。京都 YWCA のうららかふえにぜひお越しください。



今後のプログラム

◎韓国の若者を迎えて、 京都とコリアのつながり発見 新京都散策プログラム 参加者募集

- 日 時：2015年8月5日(水)～8日(土) 3泊4日
- 場 所：京都YWCA、京都市内
- 宿 泊：宇多野ユースホステル
- 参加費：15,000円/人(宿泊費、食費、プログラム費、保険代込み)
*グループ行動時の食事、個人の買い物代は含まれません。
*ボランティアリーダーには参加費補助があります。
- 対 象：13～30歳までのユースで、事前準備会及び全日程に参加できる方
- 定 員：15名
- 通 訳：有
- 事前準備会：7/4(土) 15:00～17:00
7/19(日) 15:00～17:00
- 申込み：まずはお電話ください。
※原則参加者宅に、韓国ユースのホームステイをお願いする予定ですが、ご家庭によって受入れがご無理な場合は

ご相談ください。

◎大文字のつどい

- 日 時：2015年8月16日(日) 18:30開場、19:00開始
- 参加費：一般2,000円、京都YWCA会員1,800円
子ども(小学生以下)1,000円
(軽食とワンドリンク付き)
- 定 員：50名
- 申込み：要 8月7日(金)まで

◎夏休みキッズデイアウト inガジュマルの樹

- 今年も夏がやってきました！楽しい夏休みを過ごしましょう♪
- 日 時：2015年8月17日(月)～21日(金)
各日 10:00～17:00
 - 対 象：小学生
 - 参加費：1日参加2,000円 5日間全参加8,000円
 - 定 員：20名 ※先着順
 - 申込み：要

ご寄付ありがとうございました。

2015年4月1日から5月31日
寄付者一覧(敬称略、順不同)

一般寄付

小林信一、山地憲太、(有)KFE、
広島YWCA 会員集会参加者有志

各指定寄付

*活動総務

イースター集会カンパ(世界総会派遣募金として)

*多世代・多文化ふれあいコミュニティ 事業にむけた改修募金

宮武美知子、勝山真帆、池上信子、森律子、
山本知恵、新田和子

*福島プロジェクト

菅谷菜穂

*親・子育て支援委員会

親子ライブラリー有志

*APT

篠田茜、本田次男、森律子、
マーサメンセンディーク

*国際委員会

小寺敬子、篠田茜、国際委員会有志
にほんご教室 洛楽へ：篠田茜、池上信子

*平和委員会

篠田茜、木戸さやか、円城順子
ブクラへ：ブクラ有志、神原喜久恵
ほーぼのぼの会へ：ほーぼのぼの会有志

*YWCA ショップ委員会

篠田茜

*チャリティーイベント企画委員会

神原喜久恵

*ふれあい食堂「うららかふえ」運営委員会

宮武美知子、篠田茜

*自立援助ホーム カラーナ

船越克真、平城智恵子、バドマ幼稚園、
島崎明子、深田ローラ、堀部碧、山本知恵、
伊藤真一郎、実生律子

*賛助費

清水義、高野朗、早川久仁子、狭間紀美子、
森律子、寺田弘、梓山悦子、中村和雄、
吉田繁、浅野久代、寺田有古、仲原圭子、
北村保子、佐伯昌和、松永公子、野崎泰子、
中村美智子、白根睦久、匿名1名

あじさいバザール 協力者一覧

ありがとうございました。

(順不同、敬称略)

株式会社ユニティー、
山田松香木店、(株)ティ・エム・エス、
(株)マイチケット、
(有)京都オーガニックサークル、
飯室商店、(有)プロジェ N、
(株)一粒社ヴォーリズ建築事務所、
(株)田中工務店、(有)テラヲ貨物店、
伊那食品工業株式会社、
オニザキコーポレーション、
ドナパン、山本千鶴、上村愈巳子、
池上信子、森律子、清水義、
鍛冶富美子、イエニックふたみ、
一色光世、有田孝子、神岡茂子、
北垣景子、神原喜久恵



5・6月/理事会報告

- 留学生援助資金からの助成で留学生1名を日本YWCA 主催「ひろしまを考える旅」に派遣する。
- 同志社女子高校から「花の日」訪問を受け入れ(6/12)。
- 福島プロジェクト：福島移住女性支援ネットワークから保養プログラムを委託実施する(7/24-28)
- 「うららかふえ」：夏のアイズドリンク販売開始。夏季休業：8月8日～24日
- チャリティーコンサート：「魅惑のアルゼンチンタンゴ」(アストロリコ四重奏とダンス)(2016年1月30日)のチケット販売開始。
- クラス受講生と講師ほかとの交流会実施予定(7/18)。新講座も企画中。
- カラーナ(自立援助ホーム)ニュースレター第1号発行。2015年度後援会員募集中。
- 高木慶子さん(上智大学グリーンケア研究所所長)講演会を実施予定(9/23)。
- 「戦時下の性暴力を問う講演会」(7/20)後援。

KYOTO YWCA No.527

2015年7月号(7月1日発行)

発行人 上村愈巳子

発行所 公益財団法人京都YWCA
京都市上京区室町通水上ル

電 話 (075)431-0351 FAX (075)431-0352

e-mail office@kyoto.ywca.or.jp

U R L http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替 01080-9-1566

口座名義 (公財)京都YWCA

定 価 50円